

# 北社会ニュースオ92号

2013年6月18日

発行者： 鈴木壮夫

(1) 6月19日(水)開催 第310回 北社会

講師： 緒井 太郎氏 (高40回) (株)オークスピード 代表取締役

テーマ： 「検索エンジンから、あなたのホームページにお客様を呼び込む方法」

『私のそば屋にもホームページはあります。娘が5～6年前に制作したものでその後更新はせず、そのままです。私がこの方面の知識が皆無というのが大きな原因の一つでもあります。業者さんから新しくしたら！との問い合わせは月に数回。正直、私も気になっておりました。私のアタマでは緒井さんのお話をどの程度理解できるか自信ありませんが本日のご講演を大いに期待しております。身内(?)からのアドバイス、感謝です』

(2) 7月27日(火)開催 第311回 北社会

講師： 笹崎久美子氏 宮城二女高卒。仙台在住でIT関係の講師をされております。

テーマ： 「フェイスブック入門」

『このフェイスブックについても、私の知識は皆無です。北社会でお聞きできることに、感謝しております。老人(?)に与えられたチャンスと、チャレンジしてみます』

(3) 「北社会」 300回記念誌発行について

先ず、本件に関して、私が3月に和賀井先生のご意向を受けとめ“言い出しっぺ”になったものの、より積極的に行動しなかったこと深く深くお詫び申し上げます。記念誌発行の提案をさせていただき、少数の会員から原稿が届いております。でも、気にはなっても結果的にほったらかしにしてしまい、三ヶ月が過ぎ去りました。横道にそれますが、

『72才になったからでしょうか、15年もそば打ちをやっているのに打ち上げたそばのデキが良くなく納得できない日々が続いています。朝、5時前には起床して、歩いて店に向かい、その日の仕事を始めます。働いていても気持ちがスッキリしない。でも、今のところお客様にはご来店いただき、東北大震災で約80%に落ち込んだ売り上げも今年は持直し平年を上回っております。もっと、もっと元気を出して何かと努力せねばと自分を責め続けている毎日です。こんなこと、生まれて初めての経験です。北社会の皆さんの生き活きた過ごし方を“糧”とさせていただき、立ち直りたいと願っております』

先週、青山史朗大先輩からお願いしておりました原稿が届きました。

「北社会 一わが命」、A4用紙4枚の大作です。1975年から続いている全国的にも珍しい北社会を「私もすでに卒寿を越しましたが、わが命の源泉だったと思えて、言葉も詰まりそうな心境にいたります」とお書きになっています。皆様ご協力お願いします。